

琉大の特許技術移転

日進、エコ発電で街路灯

民間へ初の試み

日進は昨年12月、琉球

と蓄電池を改良したい。

に合った改良を進め、普

大学地域共同研究センター

塩害や台風対策など沖縄

「及ませたい」と話した。

県内大学や研究機関が
特許の特許の技術移転など
を行う沖縄TLO（金城
清社長）は20日、琉球大

ーに人居、大学との産学
連携に取り組んでいる。

学工学部電子・電気工学
科の千住智信教授の特許

千住教授の特許を活用す
ることで、太陽光発電と

技術「風力発電機のピツ
チ角制御装置」、電流形

蓄電池を一体化した街路
灯や風力発電装置の開発

インバータのPWM制御
方法とPWM信号発生装

灯や風力発電装置の開発
を進める。街路灯は3年

置およびこれらを用いた
電力貯蔵装置」を、日進

後の実用化を目指す。

（西原町、津嘉山貞雄社
長）に技術移転すると発

事業として取り組みリサ
イクル発光ダイオード

表した。

（LED）パネルを活用
した屋外型電子広告事業

沖縄TLOによると、
琉大の特許技術を民間企

業に供給装置の開発も
検討する。

業に移転するのは初め
て。両特許の活用によ

県庁で会見した津嘉山
社長は「県内にある太陽

り、風力発電や太陽光発
電の発電電力の平準化、

光による街路灯はすべて
県外産で、メンテナンス

蓄電効率性向上、電池寿
命延長が期待できるとい

も十分でない」と
指摘、「眠っている特許

う。

技術を活用し、発電装置